

北京ユースキャンプ活動報告



ベルポ会青年ボランティア

大野 彩華

第8回2019北京友好都市国際ユースキャンプ

主催者：

中共青年団北京市委員会
北京市人民政府外事弁公室
北京市人民对外友好協会
北京市青年連合会

協力団体：

中央美術学院
北京第二外国语大学
北方工業大学
北京青年など

賛助団体：

北汽集団
(全国規模の自動車メーカー)

参加者：

世界約30の国と地域から約160名

2019.10.20(sun)-

日程	午前	午後	夜
20日(日)	参加登録	伝統文化体験	オリエンテーション
21日(月)	自動車会社 北京汽車訪問	コミュニティ 文化体験	グループ討論
22日(火)	ユースキャンプ 開幕式	テーマ別に分かれ 活動報告	北京オリンピック会場視察
23日(水)	万里の長城訪問	正陽門通り視察	グループ討論
24日(木)	一帶一路国際フォーラムの会場視察	北京第二外国语大学訪問	グループ討論
25日(金)	紫禁城訪問	ユースキャンプ閉幕式 バス毎に参加感想プレゼン	
26日(土)	解散		

オープニングセレモニー



劉玉虹北京市人民对外友好协会副会长
(右2)と一緒に

伝統文化体験

真剣にタイダイ（染物）に挑戦



初めての水墨画にも苦戦、頑張った



国境を越えて仲間と共に切り絵



歴史探報



前門大街で中国の伝統的な建物と



正陽門前で仲間と

快晴に恵まれ憧れの紫禁城にて



来たぞ、万里の長城



グループワーク



言語の壁に苦戦しながらも発言、自分の殻を破った

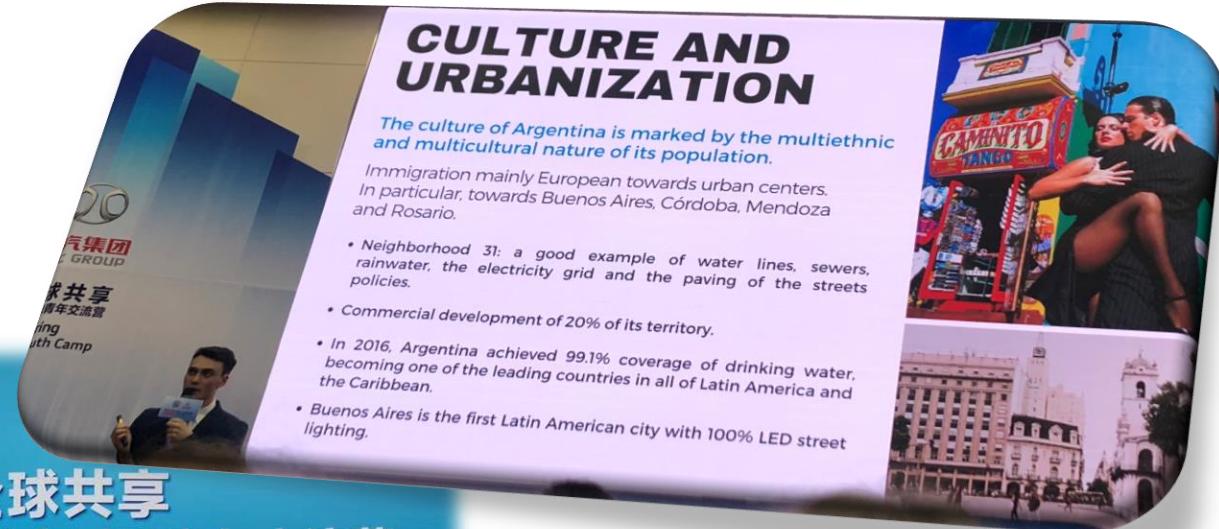
テーマ毎に分かれ意見交換

3つのテーマ

- 1、国際文化共有
- 2、森林共有
- 3、科学技術

国際文化共有のテーマで
プレゼンテーション

他国の仲間のプレゼンに刺激を受けた



CULTURE AND URBANIZATION

The culture of Argentina is marked by the multiethnic and multicultural nature of its population.

Immigration mainly European towards urban centers. In particular, towards Buenos Aires, Córdoba, Mendoza and Rosario.

- Neighborhood 3: a good example of water lines, sewers, rainwater, the electricity grid and the paving of the streets policies.
- Commercial development of 20% of its territory.
- In 2016, Argentina achieved 99.1% coverage of drinking water, becoming one of the leading countries in all of Latin America and the Caribbean.
- Buenos Aires is the first Latin American city with 100% LED street lighting.

**2019 青年・全球共享
北京友好城市国际青年交流营**
Youth & Global Sharing - 2019 Beijing Sister City Youth Camp

プレゼンやり遂げたぞ！！

事業視察

(北京オリンピック会場・自動車会社「北京汽車」・
一带一路国際フォーラムの会場視察)

自動車会社「北京汽車」訪問
銃弾も防ぐ強靭な車体にびっくり



北京国家水泳センター
ライトアップが綺麗



一带一路国際フォーラムの会場の
大きさと装飾の煌びやかさにうっとり

閉幕式

最高の仲間

ボランティア証明書



ロシア、韓国、カンボジア、ドイツ、日本、マレーシア、ラオスからのユースキャンプの感想をまとめて発表



みんなを巻き込んでのソーラン節



北京ユースキャンプを通して

- **自分の消極的な行動の気づき**

海外の青年の何事にも自ら先頭に立ち積極的に取り組んでいく姿勢に自分に足りないところを感じた

- **他文化に対する理解**

時間に対する価値観の違いや宗教の違いなど相手の文化をより一層理解を深めることができた

- **国際交流の大切さ**

実際に行動をともにすることによって短時間の交流では見えない部分まで見ることができ、自分と違う人々と交流することによって自分に足りないものが明確に見えたり、自分の知らない世界を知ることができ視野が広がった

- **伝えようとする気持ちの大切さ**

私は正しい英語を話せないと恥ずかしいと感じ、キャンプの始めはなかなか他国の人と話すことができなかった。だがキャンプを通し、重要なのは語彙力ではなく、自分の相手に伝えようする意志が大切であることに気づくことができた。

- **自分自身の変化**

今回のキャンプに参加し、自分自身を深く見つめ直すことができた。具体的に自分に何が足りないか、どのような能力を身につければ良いか、また海外の青年と交流したことさらに国際理解についての興味も深まった。大きく成長できた。

気づき・学び



・今回の国際交流は、私の人生の中で、大きな財産となりました。そして、異文化の中に身を置くことで、母国を背負って参加しているという使命感を感じました。英語ができるできないではなく、違う文化を持つ相手との関わりの中で、自分自身が世界市民の一員である自覚を持つことができました。これから10、20年後に、今回の国際交流の本質がきっと見えてくるのだと思います。今回出会った多くの縁を大切に、青年である私たちがしっかり波及していきます。

下野 正恵

北京ユースキャンプで学んだ3つのこと

(1)

→同じ年代の青年との関わりはこれから世界に生きる私たちにとって
大きな体験になる

(2)

→相互的な異文化理解を直接コミュニケーションの中で
感じること

(3)

→国際交流の際に、母国を背負っているという責任感、他国の文化を知り、
受け入れること





ありがとうございました。 謝謝。 Thank you

